

参加料

会員(正会員・事業所会員) JMA法人会員・協賛団体会員	
早期割引 〈9/10(木)まで ※キャンセル不可〉	通常
14,300円(税込み) (本体価格13,000円 消費税1,300円)	16,500円(税込み) (本体価格15,000円 消費税1,500円)
一般	
20,900円(税込み) (本体価格19,000円 消費税1,900円)	

※早期割引申込み分のキャンセルは、ご容赦ください
※上記参加料にはテキスト代が含まれています

- 会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください
<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>
 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会HP
<https://list.jma-member.com/>
 一般社団法人 日本能率協会HP

会員以外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

ご注意・お願い

- ・天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の、当会が管理できない事由によるイベントの内容変更・中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- ・録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

新型コロナウイルス感染拡大の
防止対策のうえ開催いたします。

防止対策
について



<https://www.jipm.or.jp/offer/?id=1594282913-29651>

参加料支払い

- ・開催の約2週間前より、派遣窓口担当者様あてに受付票・会場案内と請求書を送付します。請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。また、お支払いは原則として開催後1ヶ月以内をお願いいたします

お申込み先

- 申込みの確認は、TEL 049-257-5409までお願いいたします
株式会社アイ・イーシー 通信教育・セミナー受付センター
 ※当会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

お問い合わせ先

- 内容についてのお問い合わせは、中部事務所までお願いいたします
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所
TEL:052-561-5634
Mail: jipmchuubu@jipm.or.jp

キャンセル規定

- ・参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます（キャンセルはファクシミリでのみ申し受けます）

- ・開催当日および前日の参加取消し・・・参加料全額（参加料入金済の場合、返金いたしません）
- ・開催の2日前～7日前の参加取消し・・・参加料の30%（参加料入金済の場合、70%を返金いたします）
- ※いずれも土日曜・祝祭日を含みません

お申し込み方法

「JIPM」ホームページのセミナー情報「発表大会」からお申込みください。
<https://www.jipm.or.jp/offer/>

Web
申込み



- ・ファクシミリや電話での申し込みはできません
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため会場定員設定があります、申込み時に「聴講事例」の事前予約が必要です
- ・「聴講事例」を選択のうえ、お申し込みください
- ・定員数を超えた事例は申込画面表示がございません、別事例をご選択ください
- ・「聴講事例」事前予約のため、1申込み1名の予約になります
- ・5名以上、まとめてお申込みの場合は、JIPM中部(E-mail:jipmchuubu@jipm.or.jp)にご相談ください

第48回
全国設備管理強調月間

“モノづくり現場の改善”が大集合!!

〔活動事例発表会〕とは

モノづくり現場や設備管理の改善活動の成果を各社に発表いただく大会です!!職場の活性化と、企業の発展に寄与することを目的としています。

改善

活動事例
発表会2020

Good
Idea!!



中部地区大会

来場人数定員あり

〔主催〕公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
 〔後援〕経済産業省、厚生労働省、環境省、愛知県、福岡県

他社の取り組みを
マネして、考えて、進化させて、
ヒントが見つかる発表会!!

現場の
改善・工夫
どうしてるの?

IOT? ICT?
人材育成
ダイバーシティ
は??

発表数

4会場

28事例



ご発表予定企業様

愛三工業、アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、
愛知製鋼、出光興産、イビデン、小島プレス工業、
大豊工業、デンソー、東海理化、東久、東レ、
豊田合成、トヨタ自動車、豊田自動織機、
トヨタ車体、トヨタ紡織、日本ガイシ、
古河電気工業、明和工業

(50音順)

日時

2020年 12:45～
9月25日 17:30 金

問
合
せ

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
 中部事務所
Tel:052-561-5634
E-mail:jipmchuubu@jipm.or.jp

場所

ポートメッセなごや
 (愛知県名古屋市港区)

申込み

webサイトの「セミナー情報」から
お申し込みください。

JIPM

検索



感染防止に配慮した開催をします

- 感染対策についてはホームページをご参照ください
- ソーシャルディスタンスを考慮した定員数を設定しております。そのため、定員数に達しますと申込受付を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください

活動事例発表会2020 中部地区大会

9月25日(金) ポートメッセなごや・交流センター

受付：会議ホール 12:15～

時間	A会場 3階会議ホール	B会場 3階第3会議室	C会場 4階第6会議室	D会場 4階第7会議室
12:45 12:50	開 会 あ い さ つ (各 会 場)			
12:50	A-1 実機で保全能力アップ 【運転・製造】 保全技能道場を活用した 保全員の修理スキル向上	B-1 他部署連携の改善活動 【工務・保全】 RAV4 リヤサスペンション アーク工程 “アークスタートミス撲滅”	C-1 CBM方式による劣化故障低減 【工務・保全】 バンパー成形機 MTBF延長を目指した 「状態基準保全」の取り組み	D-1 作業効率の追求 【運転・製造】 理想の工程シンクロで“作業効率向上”
13:10	豊田合成株式会社 尾西工場 SS製造部 製造技術課 第2設備保全係 紺 谷 祐 輔	トヨタ自動車株式会社 高岡工場 車体部 ボデー保全課 山 口 智 史	株式会社豊田自動織機 自動車事業部 製造部 設備保全課 成形保全係 アソシエイト 穴 吹 優 志	小島プレス工業株式会社 本社工場 第1製造部 生産2課 班長 武 田 達 也
13:20	A-2 自主保全による設総率の極限追及 【運転・製造】 パワーウィンドウモーターライン 知識向上ツール活用による“設備総合効率向上活動”	B-2 弾性限界領域 【運転・製造】 ブローチ加工ダエン不良撲滅への道のり ～弾性限界領域内への挑戦～	C-2 基準外れゼロへの挑戦 【工務・保全】 排水処理場“酸素濃度基準外れ撲滅”	D-2 災害件数ゼロの追求 【運転・製造】 目指せ！階段昇降作業ゼロ職場へ ～からくり挑戦が人を育て職場の意識を変えた！～
13:40	株式会社デンソー 湖西製作所 モータ製造部 生産4課 班長 今 泉 伸 也	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 田原工場 リングギアT/C加工G 1係 工長 木 村 一 宏	トヨタ車体株式会社 富士松工場 工務部 動力 佐 々 木 暢	東久株式会社 犬山工場 製造3グループ K L (組長) 福 原 大 輝
13:50	A-3 全員参加の故障未然防止 【運転・製造】 荒波を乗り越えろ！ 設備も家族、体調管理で故障低減	B-3 エネルギーロスの探索 【工務・保全】 工場のムダとり改善	C-3 システム機器保全の標準化 【工務・保全】 生産ラインとPC・ラベルプリンタの トラブル早期復旧への取り組み ～保全マンの力量UPと標準化で故障ロス低減～	D-3 生まれの良い設備創り 【工務・保全】 更新クレーン安定稼働に向けた改善活動
14:10	アイシン精機株式会社 車体商品本部 新川工場 製造G 製造1課 3係 中 西 興	日本ガイシ株式会社 小牧事業所 グローバルエンジニアリングセンター 工務センター小牧G保全技術係 小 出 公 士	古河電気工業株式会社 三重事業所 A T 製造部 設備技術 水 野 祐 希	愛知製鋼株式会社 設備技術部 動力・ユーティリティ設備課 大 久 保 良
14:25	A-4 設備の生産性向上 【工務・保全】 保全マンの“異常対応システム構築/予知保全による 設備の生産性アップ”(MTTR短縮・故障の未然防止)	B-4 間接業務の改善活動 【生産管理】 内示処理業務の効率追求	C-4 TBMからCBMへ 【工務・保全】 設備による自己診断・自動調整システムの構築	D-4 仮想体験による技術修得 【運転・製造】 仮想体験で不安解消 ～安心・安全操作の実践～
14:45	イビデン株式会社 大垣北事業場 セラミック事業本部 ECP事業部 生産部 生産1グループ 設備管理チーム 横 山 大 輔	明和工業株式会社 管理部 生産管理課 生産管理係 主任 彦 坂 恭 平	トヨタ紡織株式会社 堤工場 製造部 設備保全課 堤設備保全係 田 中 裕 二	出光興産株式会社 愛知製油所 製油一課 自主保全グループリーダー 佐 伯 慶 樹
14:55	A-5 ICTを使い保全の効率化 【工務・保全】 ICTを活用して生産性向上活動	B-5 故障ゼロの追求 【工務・保全】 シャーシフレーム工程アーク異常『0』への挑戦	C-5 レーザー溶接の良品条件の確立 【運転・製造】 レーザー溶接機における良品条件の確立 ～気流可視化による不良ロスゼロへの挑戦～	D-5 (調整中)
15:15	愛三工業株式会社 豊田工場 工場管理部 製造技術課 野 崎 颯 大	トヨタ車体株式会社 吉原工場 車体部 ボデー保全 G L 吉 本 光 一	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 岡崎工場 Fキャリア加工グループ 新 野 泰 照	
15:25	A-6 予知保全活動 【工務・保全】 “兆候診断技術の開発”と最適な予知保全活動による 重点設備部位の“長時間停止ロス撲滅”	B-6 高周波加熱装置 【工務・保全】 “純水配管内 見える化による故障低減”	C-6 故障削減への取り組み 【運転・製造】 注入成形機ヒーター故障ゼロへの挑戦 ～全員参加で改善力の底上げ～	D-6 慢性トラブルの撲滅 【工務・保全】 合成繊維 製糸設備のトラブル削減
15:45	株式会社豊田自動織機 コンプレッサ事業部 製造第一部 刈谷保全課 保全支援G 組長 魚 谷 佳 宏	大豊工業株式会社 幸海工場 保全課 幸海係 組長 竹 若 政 修	豊田合成株式会社 森町工場 WS製造部 WS製造技術室 製造技術課 佐 藤 靖 之	東レ株式会社 岡崎工場 工務部 工務保全課 下 畑 達 彦
16:00	A-7 専門保全への貢献活動 【工務・保全】 『Change & Challenge』 三位一体のモノづくり活動	B-7 保全工数の削減 【工務・保全】 一人前の班長を目指して！ 水冷装置保全工数削減活動	C-7 遊び心で頻発停止ゼロ！ 【工務・保全】 意匠部品を確実に掴み取れ！ ～若手保全マンの遊び心が実現した“取出し異常ゼロ”への挑戦～	D-7 現場の故障低減活動 【運転・製造】 片溝キー自動山加工機 芯金破損故障ゼロへの挑戦！
16:20	トヨタ自動車株式会社 上郷工場 第1エンジン製造部 機械設備課 第8作業係 T L 岡 崎 拓 海	愛知製鋼株式会社 設備技術部 鋼材設備課 班長 近 藤 琢 磨	株式会社デンソー 高棚製作所 コックピットシステム製造部 生産革新室 保全課 河 合 健 太 朗	株式会社東海理化 音羽工場 セキュリティ第2生産部 キー部品課 班長 山 本 康 人

◆特別招待発表 (16:30～16:55)

～2019年度 2大会連続入賞事例の発表～

◎活動事例発表会2019「優秀改善賞」受賞

◎優秀改善事例全国大会2019「大会特別賞」受賞

A会場 トヨタ車体株式会社 いなべ工場
蒸気配管ドレン漏れ“0”への取り組み

B会場 トヨタ紡織株式会社 高岡工場
若手でも出来る診断技術の構築

C会場 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 岡崎工場
NC 旋盤における極限 MCT の追究
～波形分析による速度低下ロス ゼロへの挑戦～

◆表彰式 (3階会議ホール) 17:10～17:30

- ◇大会実行委員長あいさつ
- ◇全国設備管理強調月間 中部地区の入選者表彰
- ◇優秀改善賞・奨励賞の発表・表彰

◆閉会あいさつ (3階会議ホール)

大会実行委員長
愛知製鋼(株)
石 神 隆 志
司 会
愛知製鋼(株)
木 原 一 馬

A会場 (3階会議ホール)

A-1

実機で保全能力アップ

豊田合成株式会社

運転・製造

保全技能道場を活用した保全員の修理スキル向上

保全員の教育上OJTで実施する事が多いが、実際の量産機を使用しての指導に関してはスキルのある保全員が自分で修理している所を見せて覚えている。現状のやり方では保全員のスキルアップに繋がらない為、教育機（実機）を導入し実際に触りながら教育し更には点数付けして評価できるようにした事例を紹介する

A-2

自主保全による設備率の極限追及

株式会社デンソー

運転・製造

パワーウィンドウモーターライン知識向上ツール活用による“設備総合効率向上活動”

今後見込まれる生産数増加に対し、設備総合効率90%という現状に満足せず更なる高稼働ラインを実現するため、メンバーのレベルUP活動を推進。知識の『量』と『質』を積み上げるためのツールを作成し、残された問題解決を行った事例を紹介する

A-3

全員参加の故障未然防止

アイシン精機株式会社

運転・製造

荒波を乗り越えろ！設備も家族、体調管理で故障低減

QCサークルを通じて自主保全活動を計画し自働機ラインの可動率向上を図る事例。1人だけではままならない、やりきれない自主保全を実施するにあたって正社員、日系人が共に活動するため全員でのコミュニケーションの方策や自主保全に対する知識・スキルを磨く伝達・教育ツールを駆使し全員のレベルアップをさせた活動を紹介する

A-4

設備の生産性向上

イビデン株式会社

工務・保全

保全マンの“異常対応システム構築/予知保全による設備の生産性アップ” (MTTR短縮・故障の未然防止)

設備の生産性向上を目指し、保全マンの自掛での1.経験の少ない若年保全マンのMTTR短縮改善、2.焼成炉のIOTを活用した傾向管理による診断技術を確認し寿命延長した活動事例。効果として、サーボモータ関連のMTTRは98%短縮、焼成炉のTEEPを11%向上させ、さらに製造保全士（製造作業員）と一体となり“故障ゼロ”へお互いのニーズに応え相互研鑽してきた取り組み事例である

A-5

ICTを使い保全の効率化

愛三工業株式会社

工務・保全

ICTを活用して生産性向上活動

燃料ポンプラインにおいて、保全ICTシステムを活用し、定期保全から設備状態監視をする事によりCBM化を推進し、ラインの信頼性向上と保全の効率化を進めた活動について紹介する

A-6

予知保全活動

株式会社豊田自動織機

工務・保全

“兆候診断技術の開発”と最適な予知保全活動による 重点設備部位の“長時間停止ロス撲滅”

従来の保全活動で、加工ラインの長時間故障のうち、重点設備の主軸およびスライド部位、可動配線部が主に起因し、生産性と品質の問題が課題となっていた。これらについて、長時間故障のロスの撲滅には予知保全への取り組みが必須となっていた。そこで様々な診断技術を活用して、TBMからCBMへとトライ&エラーによる愚直な活動で、その課題を克服した事例を紹介する

A-7

専門保全への貢献活動

トヨタ自動車株式会社

工務・保全

『Change & Challenge』三位一体のモノづくり活動

稼働ロス低減に向けて、保全部品加工の私たちが活動の幅を広げ『Change & challenge』で保全・製造と三位一体となって考案する事でMTTR（平均修理時間）短縮に貢献した職場の活性化と人材育成にも繋げた活動事例を紹介する

特別招待発表

トヨタ車体株式会社 いなべ工場

蒸気配管ドレン漏れ“0”への取り組み

表彰式

- ◇ 大会実行委員長あいさつ
- ◇ 全国設備管理強調月間 中部地区の入選者表彰
- ◇ 活動事例発表会2020 中部地区大会優秀改善賞・奨励賞の発表・表彰

B会場（3階第3会議室）

B-1

他部署連携の改善活動

トヨタ自動車株式会社

工務・保全

RAV4 リヤサスペンション アーク工程“アークスタートミス撲滅”

私達のグループは少ない人員の為、個人ごとの作業が目立っていたが1人での改善活動には限界があり、行き詰まってしまった。しかし、上司の仕事姿から人から学ぶ事の重要さに気付かされ他のグループを巻きこんでの改善活動で職場最大の問題を解決した事例である

B-2

弾性限界領域

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

運転・製造

ブローチ加工ダエン不良撲滅への道のり～弾性限界領域内への挑戦～

ブローチ設備で散発するダエン不良により実施している全数検査廃止のため、ダエン発生メカニズムを分析し全検廃止を実施できた活動について老朽化した設備を【あきらめず挑戦する】事で最新設備に負けない仕様へと変貌させた事例を紹介する

B-3

エネルギーロスの探索

日本ガイシ株式会社

工務・保全

工場のムダとり改善

弊社では事業活動の環境負荷低減に取り組んでおり、我々の部門では工場から排出されるCO2低減活動を率先して実施している。製造現場では気が付きにくいエネルギー（電気）の無駄を工場の定期巡視で発見しその対策をしていった効果の発表。なぜエネルギーロスが発生するのかを追求し対策をしていった結果、年間103t-CO2(弊社算定値 0.42CO2-t/kw)の削減をする事が出来た事例を紹介する

B-4

間接業務の改善活動

明和工業株式会社

生産管理

内示処理業務の効率追求

内示展開業務は月末6日前から3,753品番のデーター処理業務を始め、5日間で処理業務を終わらせる必要があり月末の負荷が増え集中的な残業となっていた。巻紙分析を行い情報処理の流れ、使われている帳票を洗い出し重複業務の統合、手入力の削減などを進め工数低減を実現した事例を紹介する

B-5

故障ゼロの追求

トヨタ車体株式会社

工務・保全

シャーシフレーム工程アーク異常『0』への挑戦

新設ラインで頻発していたアーク異常を発生メカニズムから解析し徹底した真因追及により、故障ゼロへ拘り続け、メンバー全員の英知で「異常の定量化と見える化」を実現させ、対象工程を故障0件にした事例を紹介する

B-6

大豊工業株式会社

工務・保全

高周波加熱装置“純水配管内 見える化による故障低減”

素材工程の高周波加熱装置において冷却水が起因する設備故障が繰り返し発生。配管詰りのメカニズムを解析して正常な状態で管理する最善な方法を追求した事例を紹介する

B-7

保全工数の削減

愛知製鋼株式会社

工務・保全

一人前の班長を目指して！水冷装置保全工数削減活動

計画した保全項目の実施率を上げるため、工数の多くかかっている作業を分析し、ネックになっている部品をメーカーと協同で改造することにより、取替工数を大幅に削減した事例を紹介する

特別招待発表

トヨタ紡織株式会社 高岡工場

若手でも出来る診断技術の構築

（会場（4階第6会議室）

C-1

CBM方式による劣化故障低減

株式会社豊田自動織機

工務・保全

バンパー成形機 MTBF延長を目指した「状態基準保全」の取り組み

バンパー成形機は設置後14年経過し、機器・部品の性能低下による故障増加が懸念されている。従来から実施している定期保全（TBM）では性能低下の判断が困難であり、故障してから修理する事後保全となっており後手に回っている。そこで保全方式をTBM⇒状態監視保全（CBM）に変更することで、機器・部品の劣化を見える化、故障が起きる前に復元、故障時間を低減した事例である

C-2

基準外れゼロへの挑戦

トヨタ車体株式会社

工務・保全

排水処理場“酸素濃度基準外れ撲滅”

排水処理の主要機能である生物処理工程における酸素濃度基準外れを無くす為、処理のメカニズムまで遡り、原因を特定し対策。過去トラブルを繰り返さない為に、諦めずに挑戦、改善することで、達成感とサークルの成長に繋がった事例を紹介する

C-3

システム機器保全の標準化

古河電気工業株式会社

工務・保全

生産ラインとPC・ラベルプリンタのトラブル早期復旧への取り組み ～保全マンの力量UPと標準化で故障ロス低減～

近年の設備停止要因では、電気系・機械系起因のトラブルよりも、パソコン及び付属機器などシステム系のハード機器、ソフト系のトラブルが多発し設備強度率が悪化傾向であった。属人化した業務内容もあり復旧に時間を要していた。設備強度率向上のための標準化、仕組みを構築し、保全マンの力量UPに繋がった活動事例を紹介する

C-4

TBMからCBMへ

トヨタ紡織株式会社

工務・保全

設備による自己診断・自動調整システムの構築

【活動のねらい】機器の延命化・設備の突発故障低減【目標】設備停止時間20%低減【経緯】TBM（定期・定量保全）からCBM（状態基準保全）へ移行している中、エアーシリンダー（同期型）の突発故障が多いため、エアーシリンダーの突発故障低減が必須である【成果】エアーシリンダーの突発故障低減と延命

C-5

レーザー溶接の良品条件の確立

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

運転・製造

レーザー溶接機における良品条件の確立 ～気流可視化による不良ロスゼロへの挑戦～

弊社初導入のレーザー溶接機の不良ロス低減活動において、加工室内の気流を可視化することで良品条件を確立し、ブローホール不良ゼロに挑戦した事例を紹介する

C-6

故障削減への取り組み

豊田合成株式会社

運転・製造

注入成形機ヒーター故障ゼロへの挑戦～全員参加で改善力の底上げ～

当社では注入成形機のヒーター故障が頻発して発生し、その故障により工場全体の設備故障において、注入成形機がネック設備となっていた。過去の故障経緯を踏まえ、全係員で改善の発想を出し合い故障ゼロへ挑戦した事例を紹介する

C-7

遊び心で頻発停止ゼロ！

株式会社デンソー

工務・保全

意匠部品を確実に掴み取れ！ ～若手保全マンの遊び心が実現した"取出し異常ゼロ"への挑戦～

作業者が部品を整列して通い箱に入れているが位置にバラつきが発生するため、通い箱からロボットが取り出すときにチャックがぶつかり変形して大停止に繋がる事があった。これを新技術を導入して改善した事例を紹介する

特別招待発表

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 岡崎工場

NC 旋盤における極限 MCT の追究～波形分析による速度低下ロス ゼロへの挑戦～

D会場（4階第7会議室）

D-1

作業効率の追求

小島プレス工業株式会社

運輸・製造

理想の工程シンクロで“作業効率向上”

一定速度で流れている電着工程に前工程が追いつかない。そのため、電着の吊りかけレーンに空きが発生していた。そこで、前工程と電着工程をシンクロさせるため、さまざまな問題を解決、作業効率の目標90%を達成した改善事例を紹介する

D-2

災害件数ゼロの追求

東久株式会社

運輸・製造

目指せ！階段昇降作業ゼロ職場へ～からくり挑戦が人を育て職場の意識を変えた！～

災害件数ゼロ職場をめざし、危険な作業ゼロ化を目標に掲げ、からくり展での受賞をきっかけに職場改善の仕方や改善方法、当たり前に行ってきた作業の洗い出しをおこなった。自分たちで考え自分たちで作る喜びを知り、危険作業のリスクレベルを大きく下げることができ、職場の士気向上にもつながった事例を紹介する

D-3

生まれの良い設備創り

愛知製鋼株式会社

工務・保全

更新クレーン安定稼働に向けた改善活動

クレーン更新に伴い、過去に数多く発生し安定稼働を阻害していた走行車輪フランジ摩耗故障を解析し、主要因であるねじれを修正するシステムを新クレーンに搭載し成果をだした事例について紹介する

D-4

仮想体験による技術修得

出光興産株式会社

運輸・製造

仮想体験で不安解消～安心・安全操作の実践～

若手社員は石油精製装置の定期補修工事における運転停止・開始操作の経験が少なく不安を抱いていた。そこで操作全体の流れが同時に仮想体験でき、ベテランの知見を盛り込んだ動画教材を制作し、この教材の活用により自信を持って設備を安心・安全に運転することができた事例を紹介する

D-5

（調整中）

D-6

慢性トラブルの撲滅

東レ株式会社

工務・保全

合成繊維 製糸設備のトラブル削減

慢性化した軸受け装置トラブルを撲滅すべく本質原因を解明し、復元技術による設備改善、見える化と点検基準の適正化をおこない、設備面と管理面の双方のアプローチで対策に取り組み、トラブル削減に繋がった事例を紹介する

D-7

現場の故障低減活動

株式会社東海理化

運輸・製造

片溝キー自動山加工機 芯金破損故障ゼロへの挑戦！

芯金破損による故障を撲滅し可動率の向上を目指す。そのためには、なぜ破損するのか？ なぜ長期間使用できないのか？ 技術的根拠を取り入れ、生産現場が芯金部品の材質・形状・構造を設計目線で考えて改善した事例を紹介する

全国設備管理強調月間中部地区実行委員

（敬称略）

委員長

愛知製鋼(株)

石神隆志

副委員長

愛知製鋼(株)

木原一馬

(株)デンソー

伊藤 透

東レ(株)

田邊弥彦

豊田合成(株)

岩田光司

トヨタ自動車(株)

神谷彰二

日本製鉄(株)

神山知英

委 員

愛三工業(株)

柴田孝介

アイシン・エイ・ダブリュ(株)

杉山裕明

アイシン精機(株)

梶浦俊彦

アイシン高丘(株)

松本哲之

出光興産(株)

北野 仁

イビデン(株)

近藤光彦

小島プレス工業(株)

河合茂実

JFEスチール(株)

杉山 努

(株)ジェイテクト

安本 憲史

敷島製パン(株)

大岡博幸

大同特殊鋼(株)

上堀靖志

(株)東海理化

安井清充

(株)豊田自動織機

浅井哲夫

トヨタ車体(株)

安藤伸幸

日本ガイシ(株)

波多野三夫

ヤマハ発動機(株)

小栗律志